

入学案内

<募集要項>

—日本語学科—

4月生

10月生



宇都宮日建工科専門学校

UTSUNOMIYA NIKKEN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

1 出願資格

- ①日本語学習意欲のある者で、本国において12年以上の教育を修めた者、又は同等以上の資格を持つ者
- ②日本語能力試験N5相当以上の日本語能力を有する者、または150時間以上の日本語学習歴がある者

2 設置コース

入学時期	願書受付期間	定員	授業時間
4月生	10月1日～11月15日	1年コース20名 2年コース15名	月曜日～金曜日(週5日) 午前クラス/09:30～12:40 午後クラス/13:30～16:40
10月生	4月15日～5月31日	20名	

3 学費

コース名	入学前	入学後	合計
1年コース (4月入学生)	600,000円	150,000円 入学年6月～10月納入 毎月30,000円×5回	750,000円
1年6ヶ月コース (10月入学生)	800,000円	300,000円 入学年12月～翌年9月納入 毎月30,000円×10回	1,100,000円
2年コース (4月入学生)	1,000,000円	500,000円 入学年6月～翌年10月納入 毎月30,000円×16回+20,000円×1回	1,500,000円

※入学前納入金額は、入学許可のために必要な最低金額です

※入学前納入金額が多い留学生から優先的に寮(寮費無料)に入ることができます

【原則として学費は一括納入です(分割納入も可能)】 5ページの注意事項をご確認下さい

コース名	入学金	授業料	設備費	合計
1年コース	100,000円	550,000円	100,000円	750,000円
1年6ヶ月コース	100,000円	850,000円	150,000円	1,100,000円
2年コース	100,000円	1,200,000円	200,000円	1,500,000円

※出願時に選考料20,000円を振込んで下さい

4 出願および学費納入方法

- ①必要書類をそろえて、出願受付期間内に提出して下さい
- ②学費納入確認後に、入国管理局発行の「在留資格認定証明書」を本校から郵送いたします
- ③留学ビザ取得後、入学金・学費等は理由の如何を問わず、一切返還いたしません
- ④すべての費用は **日本円** で下記銀行口座に振込んで下さい

<学費振込先>

金融機関名 : みずほ銀行 本郷支店
口座番号 : 普通 4047879
口座名義 : 学校法人 日建学園

英語表記

BANK NAME : MIZUHO BANK, LTD.
BRANCH : HONGO BRANCH
BANK ADDRESS : 3-34-3 HONGO BUNKYO-KU TOKYO JAPAN
BANK CODE : MHCBJPJT
A/C NO. : 075-4047879
A/C HOLDER'S NAME : Nikken-Gakuen
ADDRESS : 4-3-13, Yanaze, Utsunomiya-shi, Tochigi, 321-0934, Japan

※振込の際は、必ず **申請人本人の名前** で振込んで下さい。尚、振込手数料は、送金者のご負担下さい

申請に必要な書類

必要書類		摘要	備考	
			申請者	支弁者
1・2	入学願書・写真	本人自筆・写真(3cm×4cm)5枚	●	
3	履歴書(様式2-1、2-2)	日本語を学ぶ理由、本人の経歴等を記載した文書	●	
4	最終学校卒業証書	原文と日本語訳を添付すること	●	
5	成績証明書	原文と日本語訳を添付すること	●	
6	戸籍簿写し・身分証コピー	申請人(本人)の家族構成を立証する書類(家族全員分の戸籍簿写しおよび本人・経費支弁者の身分証コピー)	●	
7	日本語能力証明書・日本語学習証明書	日本語能力試験(JLPT)N5級以上の日本語能力を有することを証明する資料(日本語能力試験JLPT合格者は合格証の写し。日本語学習証明150時間以上等)	●	
8	パスポートのコピー	すでに持っている場合のみ(刻印のあるページ全てのコピー)	●	
9	誓約書	申請人(本人)と保証人(経費支弁者)の署名	●	●
10	支弁者 (在日・ 在外 共通)	経費支弁書	経費を支弁するに至った経緯が記載されているもの	●
11		支弁者と申請人との関係を立証する資料	親族関係公証書	●
12		預金残高証明書	銀行発行の証明書	●
13		在職証明	支弁者の勤務先が確認できるもの	●
14		収入証明書	支弁者が企業等に勤務する者の場合	●
15	在外支弁者	支弁者の家族構成を立証する書類	支弁者家族全員分の戸籍簿写し等	○
16	在日支弁者	住民票	家族全員のもの	◎

- ※1 各証明書の有効期間は申請日からさかのぼって、日本国内3ヶ月・日本国外6ヶ月です。
- ※2 提出する書類はすべて日本語訳を別紙で添付して下さい。(入学願書は除く)
- ※3 最終学歴となっている学校を卒業後5年以上経過している者の場合、日本語を学ぶ目的、日本語教育機関卒業後の進路等を具体的に記載したものの提出が必要です。
- ※4 表に記載された資料の他、許可の要件に適合することの立証の為その他の参考となるべき資料として別の資料の提出を求められることがあります。
- ※5 [在外支弁者]は●の10～14と○の15の全てが必要です。
- ※6 [在日支弁者]は●の10～14と◎の16の全てが必要です。

入学希望者が用意する書類

1. 入学願書(様式1-1、1-2)
 - 本校所定の用紙に、母国語で空欄のないように記入
 - 出生地、現住所は正しく記入して下さい
 - 入学願書(様式1-1、1-2)、履歴書(様式2-1、2-2)の現住所は同一であること
2. 写真5枚
 - 4cm×3cm 正面向無帽で、6ヶ月以内に撮影されたもの(裏面に氏名を記入)
3. 履歴書(様式2-1、2-2)
 - 本校所定の用紙に、入学願書と相違なく、母国語で空欄のないように記入
 - 就学理由は具体的かつ簡潔に記入し、日本語訳を別紙にて添付すること
 - 学歴、職歴は空白期間がないように、(浪人期間があればその旨を記入)所在地を省略せずに
○○号まで記載
 - 出生地は国名および市町村まで記載
4. 最終学校卒業証書
 - 原文のほかに日本語訳を添付すること
5. 学業成績表
 - 原文のほかに日本語訳を添付すること
6. 戸籍簿写し・身分証コピー
 - 願書、履歴書等の記載と一致していること
7. 日本語能力証明書・日本語学習歴証明書
 - 日本語能力証明書
日本語能力試験(JLPT)合格者は合格書の写し(N5以上)
 - 日本語学習歴証明書
既習時間数は150時間以上であること(日本語学校所定の専用用紙にて提出すること)
8. パスポートのコピー
 - すでに持っている場合のみ、刻印のあるページ全てをコピーして提出して下さい
 - 日本への渡航歴がわかるように提出して下さい
9. 誓約書(様式3)
 - 本校所定の用紙を熟読し、申請人(本人)と保証人(経費支弁者も可)の署名をして提出して下さい

経費支弁者が準備する書類

【経費支弁者が日本にいる場合】

10. 経費支弁書(様式4)

- 所定の用紙に経費支弁者本人が自筆で具体的に記入し署名して下さい
- 経費支弁引受の経緯について必要な場合は別紙に記入して下さい

※負担金額：参考例 ① 学校の寮は無料なので生活費の目安は1ヶ月5万円ほどです

② 自分で学校の寮以外のアパートに入居する場合の生活費は1ヶ月8～9万円です

※送金方法：書き方の例「定期的に本人の銀行口座に振り込む」

11. 経費支弁引受経緯を裏付ける書類

- 親戚の場合：戸籍謄本(経費支弁者が日本人の場合は必ず必要)
- 親戚以外の場合：申請者と経費支弁者の関係が具体的に証明される資料

12. 預金残高証明書

- 発行3ヶ月以内のもの(出願日に注意してください)

13. 在職証明書

- 職業により次の①～③のいずれかを提出して下さい

① 会社経営者及び役員：法人登記簿謄本

② 自営業者：営業許可証及び税務署受付印のある確定申告書(控)の写し

③ 会社員：在職証明書(※勤務先の会社が作成したもの)

14. 収入証明

- 会社所定の専用用紙にて提出。
(※会社役員の場合、納税証明書、決算書の写しが必要)

16. 住民票

- 経費支弁者の同一世帯全員が記載されているもの。(区、市役所で発行)
(※外国人の場合、在留カード番号が記載されているもの)

【経費支弁者が母国にいる場合】

10. 経費支弁書(様式4)

- 所定の用紙に経費支弁者本人が自筆で具体的に記入し署名して下さい
- 経費支弁引受の経緯について必要な場合は別紙に記入して下さい

※負担金額：参考例 ① 学校の寮は無料なので生活費の目安は1ヶ月5万円ほどです

② 自分で学校の寮以外のアパートに入居する場合の生活費は1ヶ月8～9万円です

※送金方法：書き方の例「定期的に本人の銀行口座に振り込む」

11. 経費支弁引受経緯を裏付ける書類

- 親戚の場合: 戸籍謄本(経費支弁者が日本人の場合は必ず必要)
- 親戚以外の場合: 申請者と経費支弁者の関係が具体的に証明される資料

12. 預金残高証明書

- 発行3ヶ月以内のもの(出願日に注意してください)

13. 在職証明書

- 職業により次の①～③のいずれかを提出して下さい
 - ①会社経営者及び役員 : 法人登記簿謄本
 - ②自営業者 : 営業許可証及び税務署受付印のある確定申告書(控)の写し
 - ③会社員 : 在職証明書(※勤務先の会社が作成したもの)

14. 収入証明

- 会社所定の専用用紙にて提出。
(※会社役員の場合、納税証明書、決算書の写しが必要)

15. 身分証・戸籍簿コピー及び申請人との関係を立証する公証書

- 経費支弁者、申請人の氏名、生年月日、現住所、及びその関係が記載されているもの
(※本人負担の場合は不要)

★注意事項

- 上記書類のうち卒業証書の原本以外は返却しません
- 複数の申請人に対する経費支弁は認められません
- 1人の申請人に対して複数のかたで経費支弁をすることは認められます
- 申請人本人が経費支弁することもできます
- 日本語以外で書かれた書類には、**必ず別紙にて日本語訳をつけて下さい**(和訳の書式は自由)
- 出生地、現住所は正しく記入して下さい
- 入学願書、履歴書の現住所は同一であること
- 過去に不許可になったことのある申請人が**再申請**する場合は、その旨ご通知下さい
- 入学願書受付期間内に必要書類が提出されない場合、記入漏れがある場合は申請できません
- 最終学校卒業後5年以上経過している場合、日本語学習目的、卒業後の進路を具体的に記して下さい

※ 学費は原則として一括納入です

**分割も可能ですが、留学ビザ有効期限の2週間前に学費の残金がある場合、
学校は、留学ビザの更新手続きを行いません**

宇都宮日建工科専門学校 日本語学科 Q&A

【入学について①】

Q1 : いつから入学できますか。

A : 入学時期は1年に2回(4月、10月)です。1年コース(4月入学)と2年コース(4月入学)の書類申込期間:10月から11月中旬まで、1年6ヶ月コース(10月入学)の書類申込期間:4月中旬から5月末までです。

Q2 : 入学には何が必要ですか。

A : 必要なもの(書類や証明書等)については募集要項をご覧ください。
但し、国や応募条件によって内容が異なりますので不明な点をご相談ください。

Q3 : 年齢制限はありますか。

A : 原則30歳以下で、最終学歴となる学校の卒業から5年以内としています。
但し、入学希望者の条件によって、申請が可能な場合もありますのでご相談ください。
また、卒業見込みの方もご相談ください。

Q4 : どの程度の学歴が必要ですか。

A : 母国において、学校教育12年以上の課程を修了していることが必要です。

Q5 : どのように入学を申請しますか。

A : 申請可能か事前確認後、必要書類を作成・準備し、当校の定めた期日までに書類を提出してください。
提出していただいた書類を本校にて審査後、学校から入国管理局に書類を提出します。
願書受付期間は、入学希望時期及び地域によって書類の締切日が異なります。
願書受付期間は募集要項(P. 1)をご確認下さい。

Q6 : 選考料とは何ですか。

A : 選考料とは、願書提出時に支払い、書類審査や在留資格申請等を行うための事務費用です。
選考料は2万円となっています。
※審査結果にかかわらず、選考料は返金できません。

Q7 : 在留資格認定証明書交付の結果が出るのにどのくらい時間がかかりますか。

A : 入国管理局に認定申請書類を提出してから「在留資格認定証明書」が交付されるまで約2か月、入学時期の約1か月前に発表されます。

Q8 : 在留資格認定証明書が交付されたら何をしますか。

A : 交付後、本校から納付金納入のお知らせをしますので、早急に本校へ送金して下さい。
入金確認後、本校から「在留資格認定証明書」の原本を送りますので、日本公館でビザの発給申請をして下さい。

【入学について②】

Q9 : 入学金・学費はいくら必要ですか。

A : 入学金10万円を含む、学費は1年コース75万円、1年6ヶ月コース110万円、2年コース150万円です。

Q10 : 学費減免制度がありますか。

A : 入学時に減免となる制度はありません。

Q11 : 学費の分納はできますか。

A : 原則的に一括納入の方を入学優先とさせて頂いております。但し、学費の分納は可能です。1年コースの場合は、納付残金150,000円(30,000円×5回)の分納が標準とされます。1年6ヶ月コースの場合、納付残金300,000円(30,000円×10回)の分納が標準とされます。2年コースの場合、納付残金500,000円(30,000円×16回+20,000円×1回)の分納が標準とされます。

Q12 : テキスト代は授業料に含まれますか。

A : テキスト代は授業料に含まれていません。

Q13 : 他に必要な費用は何ですか？

A : 研修費:16,000円～24,000円、国民健康保険:年間10,700円、専修学校各種学校学生・生徒災害傷害保険:1年コース530円、1年6ヶ月コース720円、2年コース910円です。また、入学後の当面の生活費(家財道具・光熱費・食費・携帯電話購入など)が必要ですので、日本へ来るときに、現金200,000円ほど持参して下さい。さらに在留資格の延長には法律に定められた申請手数料 約4,000円がかかりますが、書類作成や申請代行は学校が無料で行いますので、ご安心下さい。在学中に日本語能力検定試験や留学生試験その他の受験をするには、受験料が別途かかります。その都度必要に応じてお支払い下さい。

Q14 : 途中で退学したら学費は返金してもらえますか。

A : 原則として全額返金しません。ただし、特別の事由がある場合は、本校返金規定により全部又は一部を返金することができます。また、学費を分割納入で入学した場合は、退学時に残金を一括納入して頂きます。

Q15 : 学校の奨学金はありますか。

A : 寮費無料が本校の奨学金です。在校生全員が受けられ、他の学校にはない奨学金制度です。

Q16 : 日本へ行くときは、どうしたらいいですか。

A : 学校が指定した日に、本国から成田空港へ来て下さい。学校の教職員が皆さんを迎えに行き、学校まで案内致しますので、ご安心下さい。(学校が指定した日のみ無料で迎えに行きますが、それ以外の迎えには別途20,000円ほどいただきます。[公共交通機関利用の場合])

【学校・学習について ①】

Q1 : 学校はどこにありますか。

A : 東京から新幹線で約40分の栃木県宇都宮市にあります。学校のある宇都宮市は、歴史と文化のある街で、治安も良く、学習するには最適な場所です。

Q2 : どのような国籍の留学生がいますか。

A : 学生の出身国は、台湾・香港・ベトナム・ネパール・モンゴル・韓国他の学生です。

Q3 : 学生の年齢層はどうですか。

A : 20代の学生が大半を占めています。

Q4 : 1クラス何名ぐらいですか。

A : クラスによって異なりますが、大体15～20名です。

Q5 : 他の日本語学校との違いは何ですか。

A : 専門学校の中の日本語学科ですから、在学中から日本人学生との交流があることや、先輩より様々なアドバイスが受けられ、友達をたくさん持つことができます。

また、卒業後、日建工科専門学校グループへ進学した場合、特別推薦を利用することができます。

※編入可能大学: 東京工芸大学、足利工業大学(面接試験のみの提携校)

Q6 : 授業時間帯は何時から何時までですか。

A : レベルによって、午前クラス(9:30～12:40)と午後クラス(13:30～16:40)があります。

Q7 : 授業は毎日ありますか。

A : 月～金曜日です。土、日、祝日は休みです。

長期休暇(夏休み／冬休み／春休み)もあります。

Q8 : 食事はどのようにしていますか。

A : 学校の近くに24時間営業のスーパーがありますので、寮の部屋で食べたり、買ったお弁当をコミュニティールームで食べています。

コミュニティールームには電子レンジ・冷蔵庫が設置されています。

また、昼休みには学校へお弁当屋さんが来ますので、安いお弁当を買うことができますので大変便利です。

Q9 : 自習室はありますか。

A : あります。授業の後みんなで、勉強したり、おしゃべりしたり、有効活用の場所となっています。

コミュニティールームには、「くつろぎスペース」と「自習スペース」が設けられています。

【学校・学習について ②】

Q10 : 先生はどんな人ですか。

A : ご安心下さい。優しく、経験豊富な優秀な先生ばかりです。

Q11 : 授業は何語で行われるのですか。

A : 日本語上達の近道として、全て日本語で教えます。
トレーニングを受けた講師が指導しますので、ご安心ください。

Q12 : テキストは何を使いますか。

A : メインとなるテキストは、初級:「みんなの日本語 I・II」(スリーエーネットワーク)・その他副教材として、文法、漢字・語彙、聴解、作文などの教材も使用します。
また、新聞などを教材として利用することもあります。
副教材は、理解しやすいように工夫して先生が作っています。

Q13 : 出席率は大切ですか。

A : はい、大切です。ビザを更新・変更する時や、大学・専門学校などに入学する時に、非常に重要になります。
ビザの更新・変更では、出席率が思わしくない場合、認められないことがあります。

Q14 : 日本語がよく分からないので、不安です。

A : ご安心ください。学校の敷地内に学生寮がありますので、本校のスタッフ及び母国の先輩たちがたくさんいます。他校よりも頻繁にコミュニケーションが取れるので、授業だけでなく生活面でのアドバイスが受けられます。

Q15 : アルバイトはできますか。

A : ご安心下さい。「資格外活動許可書」を取得後、週28時間以内でアルバイトをすることができます。入学後最初のアルバイトは本校が紹介致します。
履歴書の書き方や面接指導を行います。

Q16 : 学習以外の行事は、ありますか。

A : はい。年2回の校外研修(東京ディズニーランド、日光江戸村、東京見学等その年により変わります。)、年2回のスポーツ大会などがあり、日本人の学生と行いますので交流ができます。また、日本文化体験として、茶道・お花見見学・お祭り見学などもあります。

Q17 : 在学中は学生保険がありますか。

A : 専修学校各種学校学生・生徒災害傷害保険に加入します。
1年コース:530円、1年6ヶ月コース:720円、2年コース:910円に加入します。
a) 死亡事故(事故の日からその日を含めて180日以内に死亡したとき)2,000万円
b) 後遺障害保険金(事故の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じたとき)その程度に応じて・120万円~3,000万円が支払われます。ご安心下さい。
詳細は別途お問い合わせ下さい。

【生活について】

Q1：寮はありますか。

A：学校の教室の上に寮があります。ワンルームタイプのマンション(原則4人部屋)です。在学中は、経済支援の一環として寮費が無料になります。

Q2：寮のルームメイトはどうやって決められますか。

A：国籍などを考慮して決まります。

Q3：寮で日本人の学生との交流がありますか？

A：寮は、日本人学生も利用していますので、交流があります。

Q4：学校の寮に家具・電化製品は、付いていますか。

A：いいえ、家具は各自で購入して頂きます。
電化製品と合わせると約1~2万円(4人部屋:新品同様リサイクル品の場合)です。
ルームメイトと共同支払いで購入しています。

Q5：部屋にパソコンは付いていますか。

A：いいえ、付いておりませんが、ノートパソコンやスマートフォンを持っている場合は、無線インターネット(Wi-Fi)を利用することができます(無料)。

Q6：寮の生活でかかるお金はどのくらいですか。

A：寮費は無料ですが、1か月/1人分の目安として食費約20,000円、電気料金約3,000円、水道料金約2,000円です。
他に雑費で5,000円くらいです(4人部屋の場合)。

Q7：日用品など必要な物は、初めにいくらかかりますか。

A：食器、日用品、文房具など初めに買い揃えるもので、約10,000円かかります。
また、買い物やアルバイトなどに行く場合、自転車があると便利です。自転車は11,000円から30,000円で個人の好みで金額が違います。別途防犯登録料500円が必要です。

Q8：携帯電話は、加入できますか。

A：2年以上の契約が必要になる為、機種本体は一括での購入が必要となります。
金額は19,000円から40,000円で選択した機種により違います。
また、別途基本料金、通話料がかかり、個人での負担になります。
預託金(電話会社によって契約時50,000円~100,000円)もかかる場合があります。

〒321-0934

栃木県宇都宮市築瀬4-3-13

<http://www.utsunomiyanikken.com/>

TEL +81-28-639-0510

E-mail utsunomiya.nk@nikken.ac.jp



学校ホームページ



日建グループ

宇都宮 日建工科専門学校

UTSUNOMIYA NIKKEN INSTITUTE OF TECHNOLOGY